

着物を、ストリートへ。群馬発・若者向け新ブランド キモノスカジャン「JOMO-JAN（上毛ジャン）」誕生

hu-bi（風靡）は、Office刃-YAIBA-が立ち上げたファッションブランドです。群馬県内に眠る未活用の着物や反物などを再編集し、新たな価値として社会に届ける「上州アップサイクルプロジェクト」から誕生しました。このたびhu-bi（風靡）より、若者世代に向けて着物文化を再定義する**キモノスカジャン「JOMO-JAN（上毛ジャン）」**を2月4日ギフトショーLIFE×デザインにて発表いたします。

■ 上州アップサイクルプロジェクトについて

上州アップサイクルプロジェクトは、使われなくなった着物や反物など、群馬に眠る素材・技術・文化資源を掘り起こし、現代の感性と掛け合わせて再構築する取り組みです。hu-bi（風靡）は、その思想をファッションとして具現化し、伝統を「保存」するのではなく、今の時代に“風靡させる”ことを目的としています。

■ 商品コンセプト | ストリート × トラディショナル

JOMO-JANは、日本の伝統衣装「着物」と、戦後日本で独自進化を遂げたストリートアイコン「スカジャン」を融合した一着です。スカジャンの語源「横須賀（スカ）+ジャンパー」にならい、「上毛（群馬）+ジャンパー」=JOMO-JANと命名しました。群馬という土地の記憶を背負いながら、ストリートカルチャーの文脈で着物を再構築する新しい“和のストリートファッション”です。

■ 若者世代へ向けた着物の再定義

JOMO-JANが目指すのは、着物を「特別な日に着るもの」から「日常で羽織れるもの」へと変換すること。ストリートという入口を通じて、若い世代が自然に和の文化や素材の魅力に触れられるブランドとして展開します。

■ 一点ものを支える職人技とディテール

仕立ては、dressMaker（仕立て人）・中野瑞穂が担当。平面構造の着物生地を、現代の身体にフィットする立体的なスカジャンへと昇華させています。刺繍は、確かな技術を誇るヤマグチ刺繍が担当。素材には使われなくなった正絹の着用を使用し、すべて一点ものとして制作されています。胸元には、群馬県のシルエットをかたどった端切れワッペンを配置。制作過程で生まれた端切れを活用し、地域への敬意と循環型ものづくりの思想を象徴しています。

■ 伝統を、風靡させる

hu-bi（風靡）は、地域に眠る素材と技術を未来へつなぐことを目指しています。JOMO-JANは、群馬・着物・職人・アップサイクルを横断し、若者世代に向けた新しい和のスタンダードを提案します。



【商品概要】

- 商品名：JOMO-JAN（上毛ジャン）
- 上州アップサイクルプロジェクト発ブランド
- コンセプト：ストリート&トラディショナル
- 素材：正絹着物／縁どり刺繍プリント（胸部）
- ブランド名：hu-bi（風靡）
- 価格：300,000円（税別）1点もの
- 発売：Office刃-YAIBA-HPへお問合せ
- 発表：2月4日

インターナショナルギフトショーLIFE×DESIGN
開催地：東京ビッグサイト

〒135-0063 東京都江東区有明3丁目11-1)

Instagram：https://www.instagram.com/hu_bi_johshu_upcycle

是非、取材のほど、
よろしくお願いいたします。

【会社名】Office刃-YAIBA-【責任者】木樽浩之【住所】〒370-0864 群馬県高崎市石原町1978-10

【HP】https://yaiba.biz/TEL：090-4829-1319／Email：kogure@yaiba.biz

◎プレスリリースにかかるお問い合わせ先は【担当：木樽（こぐれ）】までお願い致します。

※当リリースは、高崎商工会議所が代行して情報提供をしているものです。但し、本書の内容は会員事業所様のご自身で作成しております。本書について商工会議所が責任を負うものではございませんのでご了承ください。 <<お問合せ先：高崎商工会議所 経営支援課（TEL：027-361-5171）>>